

准校長から2月号

今年の2月はたいへん寒く、雪国では豪雪、また東京都でも雪の影響で車が立ち往生してしまうなど交通機関にも大きな影響が出たと報道がありました。大阪でも積雪があったりと本当に厳しい寒さが続いています。特に定時制では気温がどんどん低下してくる夕方から夜間にかけてが生徒たちが登校してくる時間帯になりますが、本校の生徒たちは一年の締めくくりである年度末考査に向けて頑張っている様子です。もうすでに3・4年生は年度末考査を終え、卒業予定の生徒たちは今月末の卒業式を待つばかりです。2月5日には本校体育館で「卒業生を送る会」のイベントが実施され、たいへん大きな盛り上がりを見せました。卒業予定の生徒からは「成城高校定時制で学べて本当に良かった。楽しかった。ありがとう」と、本校に対する愛情が感じられる言葉がたくさん出てきました。校訓の一つである「和親協同」、つまり、みんなで仲良く協力しあって学ぶことが実践できた証だと思えます。

今月の学校の様子を紹介したいと思います。いよいよ北館校舎の解体工事が本格的に始まりました。重機が搬入され、今月末には校舎の姿はほぼなくなる予定です。もうすでに半分以上が解体されました。

定時制の授業がある夜間は工事が止まっており、また暗い事もあって、生徒たちが工事の様子を意識することはあまり無いと思いますが、体育の授業等でグラウンドに出ると南の空が開けていることに驚きます。そしてその視界の右端に解体途中の校舎の姿が黒々と入ってきます。



少し寂しい気持ちと、次に新しい校舎ができる事への期待感が混ざった、そんな気持ちになります。工事期間中はいろいろと不便なことがあります、それに負けず、工夫をしながら日々の教育活動に取り組んでいかなければ、と教職員一同が心に誓って実践しているところです。

さて、3月に入ると大阪府公立高校入学者一般選抜があります。もう次年度の準備が始まっていますが、1・2年生も今年度最後まで精いっぱい頑張っている様子、4月になって新入生を笑顔で迎えられようになっていると嬉しいです。

今月も最後まで、お読みいただきましてありがとうございました。

成城高校定時制校長 麻野 克己